



平成 29 年 3 月 吉日

地域の皆様へ

福島神社氏子会 総代代表 梅田三千雄

防火・防犯へのご協力について

拝啓 早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先般、2月11日（土）の夜間に、福島神社境内の神楽殿裏にて、数名の子供たちがたき火をして遊んでいるという事案がございました。

当日夜に、神楽殿にて福島芝囃子保存会の練習が行われるために、保存会会員が参集したところ、神楽殿の裏側で子供たちがたき火をしており、警察へ通報すると共に、神社関係者や地域の方にも来ていただきましたが、子供たちはすぐにその場を離れ、直接、子供たちに注意をすることができませんでした。

特にこの冬の時期は空気が乾燥しており火の元には注意しなければなりません、木造の神楽殿や福島神社本殿に火が移ったならば、貴重な文化財が焼失する危険性があります。

これを受け、福島神社としても伐採した枝などを片付け、柵を設けるなどの対策を致しましたが、すべての枯れ葉などの可燃物を除去することができないのが現状であります。

つきましては、防火のみならず防犯の観点からも、日頃から福島神社周辺だけでなく、ご自分の地域で不審な事がないかどうかの注意の意識をお持ちいただくと共に、保護者の皆様には、お子様たちに火遊びの危険性を十分に周知して頂きますよう、更には、深夜にお子様たちが不必要に出歩くことの無いよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、お子様たちが簡単にライターやマッチなどを持ち出すことができないように、ご家庭においても工夫をしていただきますよう、併せてお願いいたします。

地域の皆様が安全で安心して日々の生活を送るためにも、代々継承されてきた大切な文化財を守るためにも、そして青少年の健全育成の為にも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

敬具